

1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

() 月 日 曜日

大川の滝

宮浦小 六年 高橋 はな

「ボーボーボー」すごいはくかの音に、初
めていったときはとても、びっくりしました。
特に、岩の上を通って近くまで行っ
たときは、遠くから見ているよりはくか
があつて少し、こわかつたです。

私は、父、母、妹、弟と家族みんなで行きま
した。最初は、近くまで行くのがこわくてな
かなか行こうとは思いませんでした。でも、
自分で、

「せっかくきたんだから行こう。」
と思ひ行くことにしました。
そして、いさ行ってみると、すぐく楽しか
た。です。滝の近くまで行つて、水にさわると、
すぐくつめたかったです。とてもいい思ひで
なつたと思ひました。そして、滝の近くま
で行つたので、また岩の上を通つて帰るとき
は、行くときとちがつて上りが大きく、すぐく
大変でした。滝の近くから帰つてくると、と

No.

3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
4 書き終つたら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)



- 1 文章の組み立てをくふうし、中心のはっきりした文章を書きましょう。
- 2 段落の初めは、必ず一字下げて書き始め、段落ごとに行を変えましょう。

() 月 日 曜日

ても、すがすがしい気持ちになりました。そして、来たときよりも、「滝ってすごいなあ。こんな自然にめぐまれた島にすんでいて幸せだな。」とあらためて思いました。帰るときは、みんなで「滝すごかったね。今度は、他のところにも行きたいね。」と話しながら帰りました。弟は、つかれて帰りの車でねてしまっていて、

した。この屋久島の自然の良さを、いろいろな人に知ってほしいと思います。そして、たくさんの方が屋久島の自然の観こうにおとずれてくれればいいなと思います。そして、次は他と滝を見に行けるといいです。

- 3 詩はどの行も三ばんめのマスから書き頭をそろえましょう。
- 4 書き終ったら、何回も読み直して、まちがいを直したり、書き足りないところを書き足し、むだなところはけずりましょう。

(不許複製)

